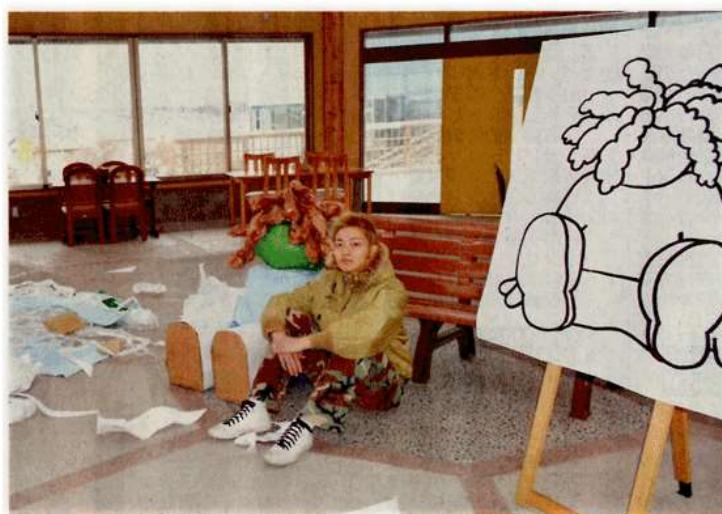


デーリー東北  
2019年(令和元年)12月17日(火曜日)(21)



# いつもの街に「ラクガキ」



八工大4年  
寺井さん

## 突如アート驚き演出 非日常的空間も創作

「ラクガキ」で街に活気を。八戸工業大感性デザイン学部4年の寺井隆太朗さん(21)が、八戸市北白山台うすの八戸ニュータウンショッピングセンター内ローズガーデンと同市十三日町のチーノはちのへの壁面に、自分が描いたペイントなどの作品を

展示している。誰もが自由に行き来するいつもの空間に突如アートを出現させることで意外性や驚きを創出するのが狙い。地域住民の交流のきっかけとなり、街に活気とユーモアを生み出したい考えだ。  
(三浦千尋)

寺井さんは現在、「都市のラクガキ」をテーマに卒業研究に取り組んでおり、ルールを守りながら公共の表現活動をする上では不思議を感じている」と寺井

さん。街を「住民全員のためのアートを発想した。寺井さんは、自宅近くのローズガーデンを展示場所にしようと同ガーデンをボランティアで管理している。現した作品への反響は大きくなり止まつて見入る人々を惹きつけた。街中に突如出

中でのアートを発想した。寺井さんは、自宅近くのローズガーデンを展示場所にしようと同ガーデンをボランティアで管理している。現した作品への反響は大きくなり止まつて見入る人々を惹きつけた。街中に突如出

る同市の就労支援事業所「八戸グリーンプランツ」の工藤和子所長に相談。工藤所長の理解と協力で展示が実現した。

ガーデン内のあづまやには、寺井さんが子どもの自由さやわんぱくさをイメージして制作したオリジナルキャラクターの絵や立体作品を展示。見る人の想像をかき立てる非日常的な空間を演出した。工藤所長は「若いうちからこういう活動をしてくれるのがうれしい。八戸を活発にしてもうえ

る。ビルを運営する八戸スカイビル(原隆史代表)は、昨年度から七夕飾りのデザインを同大に頼んでいる縁もあり、寺井さんの取り組みに協力。管理担当者は「チ

ームを発表の場にしてくれたことに感謝。機会があればまた協力したい」と歓迎する。

寺井さんは卒業後、東京の空間デザイン会社への就職が決まっているが、「今後も八戸での展示に挑戦したい。若者が主体となっていろんな活動ができる街になつてほしい」と願つてい

る。

「アートで街に活気を生み出したい」と話す寺井隆太朗さんは2日、八戸ニュータウンショッピングセンター内のローズガーデンで展示する予定。

作品はローズガーデンで年内いっぱい、チーノは

のへでは来年2月ごろま